

防災学習をしました（4年生）

12月16日（金）に、4年生が、サンテレビジョン提供の『阪神淡路大震災』の映像と『阪神淡路大震災で兄を亡くした先生の語り』の映像をもとに、防災の学習を行いました。（サンテレビジョンの取材を受けました）

4年生の子どもたちは、社会科の学習や総合的な学習等で、『災害に備える』学習をしてきています。また、10月11日（火）には、防災士さんを招いて、防災教室も行いました。

学校全体としては、昨年度から継続的に『はるかのひまわり絆プロジェクト』を実施し、「はるかのひまわり」を育てています。現在も、今年度3回目の「はるかのひまわり」が体育館横や校舎の南側、二宮金次郎の銅像前の花壇で花を咲かせています。

また、9月29日（木）には、神戸からアトリエ太陽の子の中嶋先生をお招きして、『命の一本桜プロジェクト』を行いました。

年間を通して避難訓練も計画的に実施し、子どもたちには、常に防災意識が持てるように働きかけています。このような学習や取り組みをベースに、4年生の子どもたちは、2つの課題について真剣に精一杯考えました。



《防災の学習より》

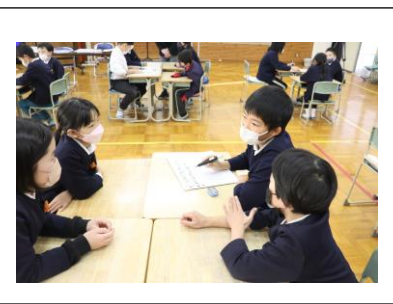


サンテレビジョンの吉本アナウンサーと一緒に参加されました。

今日の学習のめあては、阪神淡路大震災を『知って、伝えて、備える』です。それでは、阪神淡路大震災について映像を見ながら学習をしましょう。（めあて：『知って』）

みなさんは、阪神淡路大震災を知っていますか？
 1995年に起こった大地震で、6000人以上の方が亡くなりました。
 兵庫県に住む私たちにとって、1月17日は、とっても大切な日です。

先生は、当時、大学生でした。阪神淡路大震災の1年後に、小学校の先生として、淡路の北淡町の学校に行きました。地震の震源地になった場所です。そこで、『1.17』のことをたくさん聞きました。
 その時、何があったのか、先生も見えていません。今から、当時の様子を流します。先生も知らないことがいっぱいありました。



《「阪神淡路大震災」の映像を見た4年生の感想より》（めあて：「知って」）

- 大きな地震で、被害も大きい。
- 阪神淡路大震災はこわい。備えることが大事だな。
- 震度7で、びっくりした。
- 火事が起こったが、なかなか火が消せない。
- こわい。自分は経験していないけれども恐怖を感じた。
- 淡路も被害があった。加古川も被害があったと思う。 等々

《課題1》昨日視聴した高光さん（1996年生まれ、震災を経験していない先生：震災で兄を亡くしている）が、伝えていこうとしていることは何でしょう。（めあて：「伝えて」）《4年生の意見》

- ・家族を亡くした悲しさ ・たくさんの人が亡くなったこと
- ・地震は、自分の手に負えなかったこと
- ・ボランティアがいなかったら・・・
- ・避難する時のこと ・家を失った人がとても困ったこと
- ・家族の分も精一杯生きてほしい ・地震はこわい
- ・十分地震に備えてほしい
- ・普段からあいさつをして周りの人に助けてもらえるように
- ・阪神淡路大震災のことを友達や家族に伝えてほしい
- ・自分の気持ちを知ってほしい
- ・高光さんの兄は最初の子、その最初の子が死んでしまった母の思い
- ・2人目の子どもが生まれたけれども、一人目を亡くしている母の心境について
- ・2人目の子どもがちゃんと育つだろうかという不安と心配
- ・一人目の子（兄）を守れなかった母の思い（その思いがよみがえってくる母）



高光さんは、お母さんの悲しさや苦しさをわかっていて、ずっとそのお母さんの力になり、お母さんを見てきたんですね。
 高光さんが伝えていきたいことは、『命の大切さ』『自分自身も生きていこう。周りの人も生きていってほしい。亡くなった人の命の分も・・・』ということですね。

《課題Ⅱ》「阪神淡路大震災」の映像から地震の怖さを知り、高光さんの映像から「命の大切さ」を伝えてもらったみなさん。みなさんは、どんな備えができますか。

(めあて：「備える」)《4年生の意見》

- 食料等の備蓄
地域でのあいさつが普段からの備えになる
 - 食料等の備蓄
地域であいさつをすることで、自分のことを覚えてもらう
 - 食料等の備蓄
地域の人とあいさつをし、災害の時にみんなで助け合えるようにする
顔見知りになる
 - 食料等の備蓄
つながりをもつ
 - 自分たちの顔を覚えてもらうこと
避難所の確認
 - 食料等の備蓄
毎日できることをやっておかないと、地震が起こったら・・・「いざ」という時にはできない
自分のことを知ってもらえるあいさつが大事
- ※普段からの備えの中で、自分の顔や名前を覚えてもらって災害に備えること
地域とのつながりが大事だということ



一つは、自分で準備をする災害備蓄（品物）と、もう一つは、普段から顔や名前を地域の人に覚えてもらって、お互いに災害に備えるということですね。地域とのつながりが大事だということですね。

《学習の感想：4年生》

- 災害に備えることについて、いっぱい知れた。
- 阪神淡路大震災と同じような地震がきても、地域や自分を守るような備えが必要だと学んだ。
- 家族や家を守るようにしたい。
- 「いざ」という時、地域とのつながりが大事だとわかった。

《インタビューより》

映像で何が印象に残りましたか？

- 火が大きく出てくるところです。ふだんから避難訓練をすることが大事だと思いました。
- ふだんから備えることが大事だと分かりました。『命の大切さ』を知っているから、みんなに伝えたいです。

《インタビューより》

映像で何が印象に残りましたか？

- バケツリレーです。みんなで協力している姿です。ふだんからみんなで協力することが大事だと思いました。

